

明治大学10周年記念シンポジウム

環境法センター活動 これまでとこれから (2014/11/22)

明治大学法科大学院環境法センター長
柳 憲一郎

これまで 【研究ユニット構成員】 2005年～2013年度

2005年度
柳憲一郎 法科大学院・教授, 松村弓彦 法学部・教授, 新美育文法学部・教授, 西莖章 法科大学院・教授, 猪股弘貴 法学部・教授, 篠田由紀 商学部・教授

2006年度
柳憲一郎 法科大学院・教授, 松村弓彦 法学部・教授, 新美育文法学部・教授, 西莖章 法科大学院・教授, 猪股弘貴 法学部・教授, 篠田由紀 商学部・教授

2007年度
柳憲一郎 法科大学院・教授, 松村弓彦 法学部・教授, 新美育文法学部・教授, 西莖章 法科大学院・教授, 猪股弘貴 法学部・教授, 篠田由紀 商学部・教授

2008年度
柳憲一郎 法科大学院・教授, 松村弓彦 法学部・教授, 新美育文法学部・教授, 西莖章 法科大学院・教授, 猪股弘貴 法学部・教授, 篠田由紀 商学部・教授

2009年度
柳憲一郎 法科大学院・教授, 松村弓彦 法学部・教授, 新美育文法学部・教授, 西莖章 法科大学院・教授, 猪股弘貴 法学部・教授, 篠田由紀 商学部・教授

2010年度
柳憲一郎 法科大学院・教授, 松村弓彦 法学部・教授, 新美育文法学部・教授, 西莖章 法科大学院・教授, 猪股弘貴 法学部・教授, 篠田由紀 商学部・教授

2011年度
柳憲一郎 法科大学院・教授, 新美育文法学部・教授, 西莖章 法科大学院・教授, 猪股弘貴 法学部・教授, 西尾哲茂 法学部・教授, 篠田由紀 商学部・教授, 西莖章 各員研究員, 尾上健治 各員研究員, 小松英司 各員研究員

2012年度
柳憲一郎 法科大学院・教授, 新美育文法学部・教授, 猪股弘貴 法学部・教授, 西尾哲茂 法学部・教授, 篠田由紀 商学部・教授, 西莖章 各員研究員, 尾上健治 各員研究員, 小松英司 各員研究員, 尤崎 各員研究員, 成瀬トーマス・誠リサーチ・アシスタント

2013年度
柳憲一郎 法科大学院・教授, 新美育文法学部・教授, 猪股弘貴 法学部・教授, 西尾哲茂 法学部・教授, 篠田由紀 商学部・教授, 西莖章 各員研究員, 尾上健治 各員研究員, 小松英司 各員研究員, 尤崎 各員研究員, 中村明寛 各員研究員, 成瀬トーマス・誠リサーチ・アシスタント

【研究実施概要】

2005年度

- ◆ 環境法の教材開発
- ◆ 調査研究
 - I. 環境リスクに対する法的対応に関する調査研究
 - II. 自動車公害による被害救済に関する研究(公健法の認定制度の仕組みの再レビュー及び大気汚染健康被害訴訟判決の健康被害の認定に関する研究)

2006年度

- ◆ シンポジウム, 講演会, 研究発表会などの開催(主催, 共催, 後援等)
 - I. 環境法政策学会シンポジウム共催(2006.6.9)明治大学アカデミーコンモ2階シンポジウム「憲法と環境権」
 - II. 日本土地環境学会共催(2006.11.11)明治大学教育会館6階シンポジウム「都市と景観-国立環境訴訟を踏まえて」
 - III. 人間環境問題研究会定例会の開催
 - 9月定例会(2006.9.16: 14号館6階会議室) 10月定例会(2006.10.14: アカデミーコンモ310L教室) 11月定例会(2006.11.18: 14号館6階会議室) 12月定例会(2006.12.16: 14号館6階会議室) 1月定例会(2007.1.27: 研究棟308会議室) 3月定例会(2007.3.17: 研究棟4階第二会議室)
 - IV. (社)環境科学会運営理事会・理事会・評議委員会の開催支援
 - 運営理事会(2007.2.20: 14号館6階会議室) 理事会・評議員会(2007.3.30: 14号館6階会議室)
- ◆ 内外の研究調査及び委託業務に基づく環境法政策に関する提言, 意見具申等
 - 積極的に外部研究資金を得て, 調査研究を推進し, その成果を発表することで, 環境法政策の発展に寄与する。

2007年度

- ◆ シンポジウム, 講演会, 研究発表会などの開催(主催, 共催, 後援等)
 - I. 環境アセスメント学会大会後援(2007.9.7~8)明治大学アカデミーコンモ8階シンポジウム「環境影響評価法運用の10年」制度部会開催(2008.3.11)明治大学研究棟4階第一会議室
 - II. 日本土地環境学会後援(2007.11.10)明治大学和泉校舎メディア棟3階M306教室シンポジウム「土壌汚染対策の現状と今後-法政策と不動産鑑定との視点から」
 - III. 人間環境問題研究会定例会の開催
 - 4月定例会(2007.4.14: 14号館6階会議室) 5月定例会(2007.5.19: 14号館6階会議室) 6月定例会(2007.6.16: 14号館6階会議室) 7月定例会(2007.7.14: 14号館6階会議室) 9月定例会(2007.9.15: 14号館6階会議室) 10月定例会(2007.10.20: 14号館6階会議室) 11月定例会(2007.11.17: 14号館6階会議室) 12月定例会(2007.12.15: 14号館6階会議室) 1月定例会(2008.1.26: 14号館6階会議室) 3月定例会(2008.3.8: 研究棟2階第八会議室)
 - IV. (社)環境科学会運営理事会・理事会・評議委員会の開催支援
 - 運営理事会(2007.7.18: 14号館6階会議室) 理事会・評議員会(2007.3.30: 14号館6階会議室)
 - V. 日本土地環境学会常務理事会(2007.4.14: 14号館6階会議室)
- ◆ 内外の研究調査及び委託業務に基づく環境法政策に関する提言, 意見具申等
 - 積極的に外部研究資金を得て, 調査研究を推進し, その成果を発表することで, 環境法政策の発展に寄与する。諸外国の環境法制度を翻訳し, 政府及び国内研究者の便宜に供する。

2009年度

- ◆ シンポジウム, 講演会, 研究発表会等の開催(主催, 共催, 後援等)
 - I. 環境法政策学会環境政策研究会の開催(2009.3.21: 14号館6階会議室)
 - II. 環境アセスメント学会大会後援(2009.9.12~13)明治大学アカデミーコンモ9階シンポジウム「環境影響評価法改正-総合研究会報告を中心として」企画委員会・サロン会・制度部会の開催協力(2009.2.17, 4.7, 6.24, 10.8, 10.28, 11.26, 1.20, 2.10, 2.22, 3.12, 3.23: 14号館6階会議室)
 - III. 日本土地環境学会後援(2009.10.31)明治大学大会館8階会議室「改正土壌汚染対策法解説セミナー」について支援
 - 編集委員会(2009.6.10, 8.4: 14号館6階会議室) 常務理事会(2009.10.11: 14号館6階会議室)
 - IV. 人間環境問題研究会定例会の開催
 - 10月定例会(2009.10.17: 14号館6階会議室) 11月定例会(2009.11.14: 14号館6階会議室) 12月定例会(2009.12.12: 14号館6階会議室) 1月定例会(2010.1.23: 14号館6階会議室) 3月定例会(2010.3.13: 14号館6階会議室)
 - V. (社)技術士会環境部門会議の開催支援
 - 環境影響評価科目会議(2009.3.31, 4.19, 4.25, 5.10, 6.7, 7.3, 9.13: 14号館2階センター会議室)
 - 環境部門主査会議(2009.4.19, 5.10, 7.4, 8.5, 11.29, 1.15, 2.7: 14号館2階センター会議室)
 - VI. 日本土地環境学会常務理事会(2009.6.10: 14号館6階会議室)
- ◆ 内外の研究調査及び委託業務に基づく環境法政策に関する提言, 意見具申等
 - 積極的に外部研究資金を得て, 調査研究を推進し, その成果を発表することで, 環境法政策の発展に寄与する。諸外国の環境法制度を翻訳し, 政府及び国内研究者の便宜に供する。

2010年度

◆ シンポジウム、講演会、研究発表会等の開催(主催、共催、後援等)

I. 環境アセスメント学会

- ① 制度研究会定例会(2011.1.18)
テーマ「CBD/COP16報告」 環境省国立公園課長 上杉哲郎氏
- ② サロン会
テーマ「小規模アセス(いわゆる自主アセス・ミニアセス・スモールアセス)」
第1回(2010.10.27) 講演「自主的環境影響評価について」EAS研究会部会成果報告」
(社)日本環境アセスメント協会研究会(日本工営(株)) 布施孝史氏
第2回(2010.10.27) 講演「川崎市における自主アセスについて」
川崎市環境局環境評価室室長 高松順子氏
第3回(2011.2.15) 講演「世田谷区における自主アセスについて」
世田谷区環境総合対策室長 田中茂氏
- ③ アセス審査WG開催(2010.4.27, 5.18, 6.15, 6.29, 7.27, 8.24, 9.17, 10.27, 11.2, 11.30)
- ④ モニタリングWG開催(2010.12.22, 2011.2.7)

II. 日本土地環境学会活動支援

編集委員会(2011.9.1) 常務理事会(2011.10.28)

7

2010年度

III. 環境法政策学会活動支援

循環型社会形成基本法制定10年記念シンポジウムの共催
(2011.1.23: アカデミーコン9階309B教室) テーマ「拡大生産者責任(EPR)、地域循環圏など」

IV. 人間環境問題研究会定例会の開催

10月定例会(2010.10.16: 14号館6階会議室)
テーマ1「カーボン・オフセット」-VER制度の現状と課題」 日本大学教授 小林紀之氏
テーマ2「欧州のEPRの最新動向～家電リサイクル法および容器包装リサイクル法」
関東学院大学教授 織末貴氏

11月定例会(2010.11.13: 14号館6階会議室)
テーマ1「諸法の「環境法化」とその法政策的意義」 横浜国立大学准教授 及川敬貴氏
テーマ2「生物多様性条約を巡る法的問題」 法政大学准教授 岡松暁子氏

12月定例会(2010.12.11: 14号館6階会議室)
テーマ1「発展途上国における生物多様性～アジア諸国を参考に日本貿易振興会作本直行氏
テーマ2「野生復帰をめぐる環境政策の現状と課題～コウリトキを例に～」 新潟大学教授 南真二氏

補足報告「兵庫県豊岡市のコウリトキについて」 拓殖大学准教授 奥田進一氏

1月定例会(2011.1.23: 14号館6階会議室)
テーマ1「日本の原子力エネルギー政策について」 東京国際大学教授 長谷敬夫氏
テーマ2「行政による基本法の理念の具体化～循環型社会形成推進基本法をめぐって」
名古屋大学准教授 赤岡芳宏氏

8

2011年度

◆ シンポジウム、講演会、研究発表会等の開催(主催、共催、後援等)

I. 環境アセスメント学会

- ① 企画委員会開催(2011.5.7, 8.29)
- ② 制度研究会部会定例会(2011.10.7: 14号館6階会議室)
テーマ「再生可能エネルギーと環境アセスメント」
- ③ サロン会 テーマ「コミュニケーション」
第1回(2012.2.7: 14号館6階会議室)
講演「川崎市環境影響評価手続きにおける住民意見の取り扱ひについて」
川崎市環境局環境評価室室長 高松順子氏
講演2「EASにおけるコミュニケーションの検討」 (社)環境アセスメント協会 尾上健治氏
第2回(2012.3.9: 14号館6階会議室)
講演「海外におけるコミュニケーションを中心として」 名古屋大学 エコトピア科学研究所 特任講師 岡山朋子氏
講演2「情報公開と著作権の検討状況について」 環境省環境影響評価課 指導係長 横山貴志子氏

II. 小冊子事後調査WGの開催
(2010.12.22, 2011.2.7, 5.25, 7.1, 7.21, 7.27, 8.23, 9.13, 10.13, 10.25, 11.22)

III. スモールアセスWGの開催(2012.1.18, 2.1, 4.3)

IV. 受託研究の内容の検討

9

2012年度

◆ シンポジウム、講演会、研究発表会等の開催(主催、共催、後援等)

I. 環境アセスメント学会

- ① 企画委員会開催(2012.7.17, 8.8, 9.18, 11.29, 2013.2.7)
- ② 制度研究会部会定例会・サロン会(2012年度は協議して企画進行的)
テーマ「再生可能エネルギーとアセスメント」
第1回(2012.12.19: 14号館6階会議室)
講演「再生可能エネルギーと環境アセスメントその2「風力発電所」」 環境省 上田健二氏
第2回(2013.1.29: 14号館6階会議室)
講演1「海外の風力発電施設に係る環境影響の現状」 風力エネルギー研究所 鈴木彰弘氏
講演2「風力発電事業の常識? 不思議? ! 勘違い～環境影響評価法対象事業と比べて～」 エコパーナ 橋川小幸里氏
- ③ 小冊子「スモールアセス」WGの開催(2012.4.25, 7.12, 8.23, 10.18)
- ④ 小冊子「情報交流」WGの開催(2012.11.4, 11.20, 2013.1.8, 2.19, 4.4)
- ⑤ 10周年記念出版「環境アセスメントの基礎」に係る編集会議の実施(2012.6.6, 9.14, 11.3, 11.23, 12.22)
- ⑥ 常務理事会の開催(2012.7.24, 12.18, 2013.3.16)
- ⑦ 理事会・評議員会の開催(2013.3.30)

10

2012年度

II. 共同研究
「大気環境改善のための費用対効果分析を活用した排出コントロール戦略に関する調査研究」の実施

- ① 第1回研究者会合の開催(2012.9.25: 14号館6階A会議室)
- ② 費用対効果分析手法に関する研究会合(早稲田大学及び高崎経済大学と連携)
- ③ 排出コントロールに関する研究会合(国土領大と連携)
- ④ アドバイザリー委員会(2回)

2013年度

◆ シンポジウム、講演会、研究発表会等の開催(主催、共催、後援等)

I. 環境アセスメント学会

- ① 企画委員会開催(2013.4.9, 6.6, 8.5, 9.19, 12.12, 2014.2.18)
- ② 公開セミナー(2013.5.18: リパティタワー1階1011教室)
テーマ「風力発電施設に係る環境影響評価の現状と課題—今後の方向性—」
講演1「風力発電の法アセス対象追加と環境省の取組」 環境省 上田健二氏
講演2「動植物生態系への環境影響」 筑波大学 吉田正人氏
講演3「騒音・超低周波音の環境影響評価」 元工学院大学 堀田正純氏
講演4「海外事情から見える課題」 風力エネルギー研究所 鈴木彰弘氏
講演5「風力発電事業の現状」 (一社)日本風力発電協会 斉藤長氏
パネルディスカッション「風力発電施設に係る環境影響評価の課題と今後」

11

2013年度

③ サロン会 テーマ「海洋生態系」

第1回(2013.11.15: 14号館6階会議室A)
講演1「海洋生態系の特徴について」 東京大学名誉教授 日野明徳氏
講演2「法アセスにおける海洋生態系の現状」 榊東京久栄 宮下一明氏

第2回(2013.12.6: 14号館6階会議室A)
講演「海洋生態系予測の技術開発」 (公財)海洋生物環境研究所 三浦正治氏

ディスカッション「海洋生態系」
第3回(2014.2.28: 海洋生物環境研究所 会議室)
講演1「魚類と生息場を用いた生物多様性評価の試み」 (公財)海洋生物環境研究所 山田裕氏
講演2「海外の洋上風力発電環境影響評価の現状」 (公財)海洋生物環境研究所 片山洋一氏

- ④ 小冊子「情報交流」WGの開催(2013.4.4, 5.21, 6.11, 7.16, 8.26, 10.4, 10.23, 11.26)
- ⑤ 常務理事会の開催(2013.8.2, 2014.1.25, 3.6)
- ⑥ 理事会・評議員会の開催(2014.3.29)

12

2013年度続き

II. 共同研究「大気環境改善のための費用対効果分析を活用した排出コントロール戦略に関する調査研究」の実施

① 大気研究参加者会合
 平成25年度第2回大気研究参加者会合(2013.12.6: 早稲田大学)
 平成25年度第3回大気研究参加者会合(2014.1.14: 早稲田大学)
 平成25年度最終年度成果検討研究会(2014.2.19: 明治大学)

② 研究アドバイザー委員会
 平成25年度第1回(通算3回)研究アドバイザー委員会
 (2013.10.16: AP東京(八重洲通り)M会議室)
 平成25年度第2回(通算4回)研究アドバイザー委員会(2014.2.28: 早稲田大学)

法科大学院教育との連携

ゲスト講師による講義

- 角倉一郎・環境省総合政策局総務課総括補佐
 「最近の環境法政策の動向」(2008年7月22日4・5限)
- 西尾哲茂・前環境省事務次官
 「最近の環境政策の動向」(2010年7月6日4限)
- 旭硝子法務部
 「フッ素をめぐる土壌汚染に関する最高裁判決までの道」(2010年7月13日5限)
- 村上俊輔・東京都環境局都市地球環境部
 「東京都のアセス制度の最近の動き」(2011年12月19日1限)
- 村田嘉壽子・日本環境ジャーナリストの会副会長
 「大気汚染物質のリスク情報と的確な伝達」(2012年10月31日2限)
- 戸田孔功・弁護士・川崎市環境影響評価審議会会長(2012年11月27日4限)
 「川崎市のアセス条例の変遷と案件」

環境の現場での学習

- 参議院環境委員会傍聴(2004年、2005年、2006年、2007年、2008年、2009年実施)
- 弾劾裁判所の見学(2005年、2006年、2007年、2008年、2009年実施)
- 新日鉄君津工場見学(2005年、2006年、2007年、2008年、2009年、2010年夏季休暇中実施)



【外部資金獲得状況一覧】

- 2005年度 受託研究(環境科学情報センター)
 ・「環境リスクに対する法的対応に関する調査研究」
- 2006年度 受託研究(環境情報科学センター)
 ・柳憲一郎, 松村弓彦 「環境リスクの法的対応」
- 2007年度 受託研究(環境情報科学センター)
 ・柳憲一郎, 松村弓彦 「環境リスクの法的対応」
- 2008年度 受託研究(環境情報科学センター)
 ・柳憲一郎, 松村弓彦 「環境リスクの法的対応」

- 2009年度その1 受託研究(環境科学情報センター)
 ・柳憲一郎 「環境リスクの法的対応」
- 2009年度その2 受託研究(法科大学院保険法寄付講座共同研究助成)
 ・松村弓彦, 柳憲一郎
 「環境リスクに関する法的知見に係る諸外国の動向調査研究」
- 2009年度その3 受託研究(社会科学研究所個人研究)
 ・柳憲一郎 「環境配慮制度に関する研究」
- 2011年度 受託研究(環境情報コミュニケーションズ)
 ・柳憲一郎, 尾上健治, 小松英司
 「PM2.5に関する先行的な環境アセスメントのための手法と課題」

- 2012年度その1 受託研究(環境情報コミュニケーションズ)
 ・柳憲一郎, 尾上健治, 小松英司
 「PM2.5に関する先行的な環境アセスメントのための手法と課題」
- 2012年度その2 共同研究(独立行政法人環境再生保全機構「環境改善調査研究」受託者(研究事務局): 環境情報コミュニケーションズ)
 ・柳憲一郎, 尾上健治, 小松英司(研究代表)
 「大気環境改善のための費用対効果分析を活用した排出コントロール戦略に関する調査研究」
- 2013年度その1 受託研究(環境情報コミュニケーションズ)
 ・柳憲一郎, 尾上健治, 小松英司
 「PM2.5に関する先行的な環境アセスメントのための手法と課題」
- 2013年度その2 共同研究(独立行政法人環境再生保全機構「環境改善調査研究」受託者(研究事務局): 環境情報コミュニケーションズ)
 ・柳憲一郎, 尾上健治, 小松英司(研究代表)
 「大気環境改善のための費用対効果分析を活用した排出コントロール戦略に関する調査研究」

【研究成果発表一覧 出版】

2006年度

- 松村弓彦, 柳憲一郎, 荏原明則, 小賀野晶一, 織朱実
『ロースクール環境法』(成文堂, 2006)
- 柳憲一郎, 篠田由紀, 磯田尚子 『多元的環境問題論(改定増補版)』
(ぎょうせい, 2006)
- 柳憲一郎他 『環境アセスメントの最新知識』(ぎょうせい, 2006)
- 柳憲一郎他 『新・公害防止の技術と法規2007』
(産業環境管理協会, 2007)

2007年度

- 松村弓彦, 柳憲一郎, 荏原明則, 小賀野晶一, 織朱実
『ロースクール環境法(改訂版)』(成文堂, 2007)
- 柳憲一郎, 岩間徹 『環境リスク管理と法』(慈学社, 2007)
- 柳憲一郎他 『新・公害防止の技術と法規2008』
(産業環境管理協会, 2008)
- 松村弓彦 『環境協定の研究』
(成文堂, 2007年) 明治大学社会科学叢書

【研究成果発表一覧 出版】

2009年度

- 柳憲一郎他 『新・公害防止の技術と法規2009』
(産業環境管理協会, 2009)
- 松村弓彦編著 『環境ビジネスリスクー環境法からのアプローチ』
(産業環境管理協会, 2009)

2010年度

- 松村弓彦, 柳憲一郎, 荏原明則, 石野耕也, 小賀野晶一, 織朱実
『ロースクール環境法』(改訂第2版)』(成文堂, 2010)
- 柳憲一郎 「最近の欧州環境政策の動向」永野秀雄, 岡松睦子編
『環境と法 国際法と諸外国法制の論点』(三和書籍, 2010)
- 柳憲一郎, 森永由紀, 磯田尚子 『多元的環境問題論(改訂増補版)』
(ぎょうせい, 2010)
- 浅野直人, 柳憲一郎 『演習ノート環境法』(法学書院, 2010)

【研究成果発表一覧 出版】

2011年度

- 柳憲一郎 『環境アセスメント法に関する総合的研究』(清文社, 2011)
- 柳憲一郎 「水俣病被害者の救済」森島昭夫・塩野宏編
『変動する日本社会と法』(有斐閣, 2011)
- 柳憲一郎 「戦略的環境アセスメントの制度設計」大塚直, 大村敦, 野沢正充
編 『社会の発展と権利の創造』(有斐閣, 2011)
- 柳憲一郎 「環境影響評価法の課題と展望」新美育文, 松村弓彦, 大塚直編
『環境法大系』(商事務法務, 2012)
- 新美育文 「環境リスク・損害と法的責任」新美育文, 松村弓彦, 大塚直編
『環境法大系』(商事務法務, 2012)
- 新美育文 「リスクと民事責任における因果関係ーアメリカ法の対応」森島昭
夫, 塩野宏編 『変動する日本社会と法』(有斐閣, 2011)
- 西尾哲茂 「自動車排出ガスによる環境リスク管理の課題と展望」新美育文,
松村弓彦, 大塚直編 『環境法大系』(商事務法務, 2012)
- 西尾哲茂 「環境基本法の意義と課題」新美育文, 松村弓彦, 大塚直編
『環境法大系』(商事務法務, 2012)
- 西楚章 『国家賠償法コンメンタール』(創草書房, 2011)

【研究成果発表一覧 出版】

2012年度

- 柳憲一郎 「環境影響評価条例に基づく環境アセスメント」環境アセスメン
ト学会編 『環境アセスメント学の基礎』(恒星社厚生閣, 2013)
- 柳憲一郎, 浅野直人 「制度に係る将来の方向性・展望」環境アセスメン
ト学会編 『環境アセスメント学の基礎』(恒星社厚生閣, 2013)
- 尾上健治 「風力発電」環境アセスメント学会編
『環境アセスメント学の基礎』(恒星社厚生閣, 2013)

2014年度

- 柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子 『多元的環境問題論』(ぎょうせい,
2014)
- 柳憲一郎 「大気・水環境管理における規制的手法」高橋信隆, 亘格, 北村喜富編
著 『環境保全の法と理論』(北海道大学出版会, 2014)

【研究成果発表一覧 論文】

2005年度

- 柳憲一郎 「化学物質管理法と予防原則」
『環境法研究30号』(有斐閣, 2005年12月)
- 新美育文 「環境リスクに関する企業の法的責任」
『環境管理』((社)産業環境管理協会2006年2月)

2006年度

- 柳憲一郎 「計画段階における環境配慮手法ー戦略的環境アセスメントの
総合的検討」(明治大学法科大学院論集第1号, 2006年)
- 柳憲一郎 「これからの戦略的環境アセスメント」
(化学物質と環境No.77, 2006年5月)
- 柳憲一郎 「環境法とアスベスト問題の経緯と今後」
(不動産調査月報 No.3338/339, 2006年6月)
- 柳憲一郎 「アスベスト対応の個別法の改正とその動向」
(環境管理, 2006年10月)
- 柳憲一郎 「憲法における環境規定のあり方」
(ジュリスト, 1325号, 2006年12月)
- 松村弓彦 「ドイツ包装廃棄物の発生抑制と再利用に関する法規命令
(2005年改正)」(平成17年度世界各国の環境法制に係る比較法調査報
告書2007年3月)

【研究成果発表一覧 論文】

2007年度

- 柳憲一郎 「EU及び英国における地下水政策の現状と課題」
(明治大学法科大学院論集第3号, 2007)
- 柳憲一郎 「欧州議会及び閣僚理事会に対する欧州委員会からのコミュニケーション
持続可能な資源利用の促進・廃棄物の抑制・リサイクルにおけるテーマ別戦略ー」
『平成18年度 世界各國の環境法制に係る比較法調査報告書 各論編Part2 自然保護・物質循環』
(2007年3月)
- 柳憲一郎 「土壌保護に関するテーマ戦略に係る環境影響評価の要旨」
『平成18年度 農用地, 市街地等に関する土壌環境法制の検討調査-邦訳・英訳編』
(2007年3月)
- 柳憲一郎 「土壌保護に関するテーマ戦略」
『平成18年度 農用地, 市街地等に関する土壌環境法制の検討調査-邦訳・英訳編』(2007年3月)
- 柳憲一郎 「憲土壌汚染対策法の調査の契機について」
『平成18年度 農用地, 市街地等に関する土壌環境法制の検討調査法制編』
- 柳憲一郎 「わが国のアスベスト問題の状況と米国の対応(その2)」
環境情報科学センター 平成18年度環境リスク研究会報告書 (2007年3月)
- 松村弓彦 「環境法における国家の保護義務(ドイツ連邦憲法裁判所判例
研究)」 環境情報科学センター 平成18年度環境リスク研究会報告書 (2007年3月)
- 新美育文 「イギリスにおけるアスベスト被害訴訟の現況」
環境情報科学センター 平成18年度環境リスク研究会報告書 (2007年3月)

【研究成果発表一覧 論文】

2009年度

- 新美育文「複数のリスク要因と責任分担－アメリカの第三次不法行為(責任の分担)リステイトメントの概要」
平成20年度環境リスク研究会報告書,(財)化学物質評価研究機構,2010
- 松村弓彦「幻のドイツ環境法典草案研究(1)－編纂事業の経緯と第1編の特徴－」平成20年度環境リスク研究会報告書,(財)化学物質評価研究機構,2010
- 柳憲一郎「最近の欧州の環境政策と大気質指令の改正」
平成20年度環境リスク研究会報告書,(財)化学物質評価研究機構,2010
- 柳憲一郎「欧州の製品規制政策と環境リスク管理」
(産業環境管理協会 2009)
- 柳憲一郎「戦略的環境アセスメントと持続可能性アセスメントの現状と課題」
法科大学院論集第7号(2010年3月)
- Kenichiro YANAGI & Hironobu ASAGA「Legislation related to groundwater in the EU: background and current status」
Proceedings of UNESCO Chair Workshop on International Strategy for Sustainable Groundwater Management: Transboundary Aquifers and Integrated Watershed Management, 2009.

25

【研究成果発表一覧 論文】

2009年度続き

- 柳憲一郎「海外のアセス制度との比較法的視点から」
環境アセスメント学会誌, Vol. 8, No.1(2010.2)
- 柳憲一郎, 朝賀広伸「英国のリスク管理と予防原則」
日立環境財団『季刊環境研究』2009 NO.154
- 柳憲一郎「土壌汚染対策法の改正のポイント」
環境管理Vol.45 7:1-7頁(2009.7)
- 柳憲一郎「欧州における土壌汚染政策の現状と課題」
有斐閣『環境法研究』34号(2009.11)
- 柳憲一郎「欧州における自動車CO2規制の動向」
有斐閣『環境法研究』33号(2008.11)
- 柳憲一郎, 朝賀広伸「EU及び英国における地下水管理制度」
明治大学法科大学院論集第3号, 2008年4月
- 柳憲一郎「製品規制・総論－欧州の総合的製品政策」
環境管理Vol.44 3(2008.3)

26

【研究成果発表一覧 論文】

2010年度

- 柳憲一郎「海外のアセス制度との比較法的視点から」
『アセスメント学会誌』Vol.8.1 pp.51-53(環境アセスメント学会, 2010.1)
- 柳憲一郎「持続可能性アセスメントと戦略アセスメントの現状と課題」
『明治大学法科大学院論集』第7号pp.463-505(明治大学法科大学院, 2010.2)
- 柳憲一郎「地球温暖化対策に関する法政策の現状と課題」
『季刊不動産研究』52巻第4号 pp.3-15((財)不動産研究所, 2010)
- 2012年度
- 柳憲一郎・宮下一明「自主アセス・スモールアセス(地域住民との調和)の現状」
日本不動産学会誌, 26[3] 1-6 (2011)
- 尾上健治「環境アセスメントにおけるコミュニケーション計画」
環境アセスメント学会誌, 10[2] 47-52 (2012)
- 2013年度
- 小松英司「リスクマネジメント最前線『クロスアップされるPM2.5の大気汚染問題』」
東京海上日動リスクコンサルティング(株)「企業リスク情報」レポート, No.16, (2013年4月)
http://www.tokiorisk.co.jp/risk_info/lup_file/201304081.pdf

27

【研究成果発表一覧 論文】

- 尤セイ・柳憲一郎「中国の「環境保護法」修正案(草案)の動向と展望について」新・環境法シリーズ15－環境管理49(2)
- 柳憲一郎・成瀬・トーマス・誠「簡易なアセスの現状と課題」日本不動産学会誌 27(1) pp.34-40
- 柳憲一郎・成瀬・トーマス・誠「全体の動向－最近の重要環境判例」(人間環境問題研究会創立40周年記念号)環境法研究(58)pp.27-42
- 柳憲一郎「米国の石綿に関する規制について」諸外国における環境法制に共通的に存在する基本問題の収集分析業務報告書, part-1(環境管理関係) pp.65-126
- 2014年度
- 柳憲一郎・尤セイ中塚ごおける微粒子状物質(PM2.5)対策の最近の動き」新・環境法シリーズ29 環境管理 50(5) PP.42-47
- 柳憲一郎「2020年東京湾初シベックパシフィック環境アセスメントと持続可能性アセスメントへの道新・環境法シリーズ30 環境管理 50(6) PP.66-72
- 柳憲一郎「米国の石綿に関する規制について」諸外国における環境法制に共通的に存在する基本問題の収集分析業務報告書, part-1(環境管理関係) PP.87-164
- 柳憲一郎・尤セイ中国における廃自動車リサイクルに関する法制度」part-2(自然保護関係/物質循環関係) PP.227-240
- 柳憲一郎・中村明彦・成瀬トーマス誠「シンガポールにおける循環型社会形成及び廃棄物処理に係る法制度の最新動向について」part-2(自然保護関係/物質循環関係) PP.209-226
- 柳憲一郎「『空』台湾ごおける最新の廃棄物法脚ごて」part-2(自然保護関係/物質循環関係) PP.241-248

28

【研究成果発表一覧 研究会 講演会】

2005年度

- 柳憲一郎「アスベスト問題における環境法の対応と今後」(2006年2月)
(財)日本不動産研究所第5回REIカレッジ公開セミナー(於:サンケイ・ホール)
- 2009年度
- 柳憲一郎「海外のアセス制度との比較法的視点から」(環境アセスメント学会シンポジウム)
- 2010年度
- 柳憲一郎「持続可能な社会の構築に向けた環境法の役割に関する研究」環境科学会学術賞受賞記念講演(於:東洋大学)
- 2013年度
- 柳憲一郎「環境影響評価」環境法政策学会(於:筑波大学)
- 功刀・有村・小松「PM2.5の効率的削減に向けた定量分析」
環境経営学会研究報告大会/第13回定期総会
- 功刀・有村・小松「PM2.5に関する費用対効果分析モデルと削減量の最適化」
環境科学会 2013 年会
- 小松ら「PM2.5対策のための排出コントロール戦略に関する研究」
第54回大気環境学会年会
- 平山・小松ら「PM2.5固定発生源由来二次生成粒子削減ポテンシャルおよび費用の推計」
54回大気環境学会年会
- 2014年度
- 柳憲一郎「スモールアセスの枠組み:自主アセス・ミニアセスを中心として」アセスメント学会基調報告

29

これから (2014年度～)

- 法科大学院 教授 柳憲一郎(環境法・環境法政策)
- 法学部 教授 新美育文(民法・環境法・訟務)
- 法学部 教授 猪俣弘貴(行政法・国家補償)
- 法学部 教授 西宮哲寛(環境法政策・環境法)
- 商学部 教授 篠田由紀(自然環境論)

- 客員
研究員
- 弁護士 西津 章(行政法・国家補償)
- 尾上健治(環境法研究)所長
- 尾上環(環境アセス調査)研究員
- 小松英司(大気環境調査)研究員
- 宮崎大学講師 成瀬トーマス・誠
- 中塚ご(環境法)研究員

リサーチ・アシスタント 高橋直佑

環境法センター 客員研究員

- 琉球大学法科大学院特受・弁護士 北川隆之
- 東京スター銀行法律部・コンプライアンス・
- ワールドワッチ研究所(日本)副代表 村田佳壽子 弁護士 國分 昌郎
- 長興法律事務所・弁護士 大井基弘 教育の森法律事務所・弁護士 應本 昌樹
- 衆議院議員・丸川隆夫(環境法)事務所・弁護士 藤原崇 小林茂和(法律事務所)・弁護士 小林 頌太郎
- 木村・角田・堀田法律事務所・弁護士 田中純一郎 明治大学法科大学院教育補助講師・弁護士 中山 弘基
- 長野弁護士会・弁護士 東山明 谷田法律事務所・弁護士 谷田 一郎
- 高橋三兄弟法律事務所・弁護士 小坂 景子 弁護士 佐藤 健太
- 裁判員制度センター・弁護士 藤原 寿人

【2014年度研究実施計画概要】

シンポジウム、講演会、研究発表会等の開催(主催、共催、後援等)

◆人間環境問題研究会定例会の開催

- 4月定例会(4・12 14号館6階会議室)
- 5月定例会(5・10 研究棟3階会議室)
- 6月定例会(6・14 14号館6階会議室)
- 7月定例会(7・12 14号館6階会議室)
- 10月定例会(10・18 14号館6階会議室)
- 11月定例会(11・8 14号館6階会議室)
- 12月定例会(12・13 14号館6階会議室)
- 1月定例会(1・24 14号館6階会議室)
- 3月定例会(3・7 14号館6階会議室)

◆環境アセスメント学会の総会・公開セミナー各種委員会の開催

- 企画委員会の開催、小冊子WG委員会の開催、サロン会の開催
- 総会・公開セミナー2014年5月17日(土)開催(明治大学リバティール1032教室)

◆「環境法政策立案支援研究会」本構成メンバーのほか、主として本学法科大学院を修了した法曹関係者(検察官・弁護士)で構成し、国会に上程された環境法関連法に関する国会環境委員会における審議を総合的に検討支援する活動を行う。継続教育の一環とする。

31

外部資金の獲得

【外部資金獲得状況一覧】

- 科研費基盤S「環境法の参加原則に係る評価指標の検討—環境民主主義の確立に向けた国際連携構築」(代表 大久保規子・阪大教授)の調査研究(研究分担)
- 科研費基盤B「総合的流域管理と水資源利用をめぐる比較法的研究」(奥田進一・拓殖大教授)の調査研究(研究分担)
- 科研費基盤C「国際開発における環境政策の制度と役割に関する研究」(代表 二宮 浩輔・山梨県大准教授)の調査研究(研究分担)
- 環境省平成27年度環境研究総合推進費「費用対効果/便益・リスクを考慮したアジア域の大気汚染対策の国際協調に関する研究」(代表 柳憲一郎)(申請中)
- 学内研究「民事契約をめぐる日中比較研究—環境汚染地取引を中心に」(代表 柳憲一郎、分担 北河隆之・奥田進一)

【環境法政策資料室】の整備

環境省中央環境審議会会長を歴任された森島昭夫名古屋大学名誉教授の審議会関係資料を寄贈を受け、整理し、環境法政策立案支援研究会での活動に資することや一般に公開を目指す。

【環境法政策立案支援研究会】の活動

藤原崇各員研究員(衆議院議員環境委員会所属)の国会における政策立法活動支援として、センター内に研究会を立ち上げ、国会提案法案に関する検討を行う。